

## 残暑お見舞い申し上げます

眩しい太陽が照りつける本格的な夏の到来となりました。ダイヤモンドはダイヤモンドで研がれ、磨きがかかると言われますが、人間も同じことが言えるのではないのでしょうか

裕福な家に生まれて、よい学校を卒業しても、いい人間にはなれないのと同じで、人との関わりや苦勞、失敗をすることで磨きがかかるのではないのでしょうか。

そんな人との関わりをこの仕事を通じて持ちたいと願っております、出会いを求めて、出会いを大事にお客様と関わっていきたいです。



## お礼のメールをいただきました

4月にエアコン掃除をお願いしましたが、お一人でテキパキと作業してくださり、価格も他の業者様と比べてかなり良心的で、大変満足いたしました。本日、エアコンの水漏れについて相談したところ、前回対応してくださった同じ従業員の方が来てくださり、連絡後1時間もおからないうちに駆けつけてくださいました。迅速に原因を突き止めてくださり、本当に驚くほど素早い対応でした。今回の水漏れは4月のエアコン掃除とは直接関係のない内容でしたが、「代金は結構です」とおっしゃってください、かえって申し訳ない気持ちになるほど誠実なご対応でした。

さらに、作業後には「対応は完了しましたが、水漏れが続くようでしたら遠慮なくご連絡ください」と温かいお言葉までいただき、最後まで安心してお任せすることができました。技術力はもちろんのこと、迅速さ、誠実さ、そしてお客様への心配りが素晴らしい会社だと感じました。

このたび、お客様より心温まるメッセージをいただき、スタッフ一同、深く感動しました。

お客様に喜んでいただけることが、私たちの何よりの励みとなっております。

今後とも、より一層ご満足いただけるサービスを提供できるよう、頑張っていきたいと思っております。



## Do it now

社長は成長し続けなければならない。

なぜなら社長の成長がない限り、  
会社の安定も成長も望めないからだ。

それでは成長し続ける人というのは、  
どういう人だろう？

成長し続けられる人の大きな特徴の一つは、  
「第一歩が早い」ということ。

成長し続ける人は知っている。  
未来は行動によってしか、つくれないことを。  
積み重ねた行動の上にか、  
自分の望む未来はないことを。

成長し続ける人は知っている。  
時間は有限であることを。

人生は一回限りしかない片道切符の旅であることを。  
だから、すぐに行動する。

## 8月イベント情報

立 秋 7日(金)

夏が極まり秋の気配が立ち始める日



山の日 11日(火)

山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日

お 盆 13日(木)~15日(土)・16日(日)

日本で夏季に行われる  
祖先の霊を祀る一連の行事



花火大会

5日 筑後川花火大会(久留米市)

8日 夢HANABI(小郡市)

13日 関門海峡花火大会(北九州市・下関市)



七夕まつり

~7日 宮地嶽神社(福津市)

1日~8日 宝満宮竈門神社(太宰府市)

6日~7日 七夕神社(媛社神社)(小郡市)

ひまわり畑

のこのしまアイランドパーク(福岡市)

道の駅おとう桜街道(田川郡)

柳川ひまわり園(柳川市)



あなたの家のお掃除隊  
クリーン彩花

お問い合わせ・お見積りはお気軽に！



0120-400-225

<http://www.c-saika.jp/>

# 顧客が“プロ顔負け”の時代、地域密着プロの役割とは？

最近、「インフルエンサー」（世間や人びとの行動に影響を与える人）という言葉が耳にするようになりました。

InstagramやYouTube、TikTokなどのSNSでは、個人が毎日の掃除の様子を写真や動画で紹介し、なかには何十万人ものフォロワーを集めている人たちがいます。キッチンのシンク、浴室のカビ、トイレの黄ばみ——。テレビや雑誌だけでなく、SNSや動画配信を通じて、掃除のノウハウや最新の洗剤情報が、個々人の手元に直接届くようになりました。ある意味では、お客様の方が私たちプロよりも、新しい洗剤や道具についてご存じ、という場面も増えています。

## ◆「ハードルを下げる」こともプロの仕事

人気のお掃除インフルエンサーの方々の投稿を見ていると、一つの共通点があります。それは、「完璧な掃除」ではなく、「これなら私にもできそうだ」と感じられるラインを大切にしていることです。たとえば、「今日はシンクだけ」「今日は洗面台だけ」といった、小さな単位で取り組める掃除を提案してくれます。「ズボラな私でも続いた」「失敗しても大丈夫」というような言葉をそっと添え、掃除に苦手意識のある人でも一歩を踏み出せるように工夫されています。毎日の暮らしを支えているのは、お客様ご自身のちいさな掃除の積み重ねです。プロに頼むのは年に数回かもしれませんが、台所やお風呂場に立つのは毎日のことです。だからこそ、プロの側からも、「ここまではご家庭でできるコツ」「ここから先は、無理をせずプロに任せてほしいライン」を、ていねいにお伝えしていくことが重要になってきていると思います。

## ◆「プロの仕事」はどこにあるのか

一つは、「見えないところまで責任を持つ」ということです。たとえばエアコンの内部クリーニングでは、見える部分だけでなく、分解して初めて届く箇所、洗浄後の乾燥や組み立てまで含めて、安全に作業を行う必要があります。「見える汚れ」は市販の道具である程度対処できますが、「見えない汚れ」「見えないリスク」に目を配るのは、やはりプロの役割です。もう一つは、「お客様一人ひとりの暮らし方に合わせて、全体を設計する」ということです。情報はインターネット上にあふれていますが、「どれを選べばいいのか」「自分の家の場合にはどうすればいいのか」というところで、多くの方が迷っておられます。プロとして現場に伺うと、家のつくり、家族構成、これまでの掃除の履歴などから、「このご家庭には、ここを優先した方がよい」「この部分だけは定期的にプロに任せてほしい」といった全体像が見えてきます。インフルエンサーが「情報の案内人」だとすれば、地域のプロは「その人の暮らしそのものを見ながら、一緒に考える伴走者」であると言えるかもしれません。

## ◆“お掃除インフルエンサーの時代”との付き合い方

SNSで掃除の情報を集めているお客様のなかには、「こういう洗剤を試してみたい」「このインフルエンサーのやり方を真似してみた」という方がおられると思います。そんなとき、プロ側が「ネットの情報なんて当てにならない」と切り捨ててしまえば、せっかくお客様が育ててこられた知識や関心の芽を、踏みにじってしまうことになります。むしろ、「その情報を一緒に検討してみましょう」「このやり方はどのご家庭にも合いそうですね」「ここだけは注意が必要ですね」という形で、対話を深めていくことが肝心です。「インフルエンサーの時代」とは、プロの敵が増えた時代ではなく、お客様とプロが共通の話題を持ちやすくなった時代でもあるのです。「ここまではご家庭で」「ここからはプロで」と境界線を相談できる。そんな新しい関係づくりの可能性が開かれています。

## ◆「一緒に考えるプロ」であり続ける

社会変化（高齢化、孤立・孤独問題、就業女性増加など）とともにお掃除サービスに求められるニーズは多様化する一方で、高齢のご夫婦には、転倒や無理な姿勢を避けるための「危険な掃除」の線引きを。共働きのご家庭には、「ここだけはプロに任せることで、週末の時間を取り戻す」提案を。小さなお子さんのいるご家庭には、安全な洗剤の選び方や、アレルギーへの配慮を、等々です。顧客が“プロ顔負け”の専門家になれる時代は、プロにとっては厳しい時代でもあります。同時に、新しい出会いと学びに満ちた時代でもあります。「一緒に考えるプロ」として成長していくことが不可欠です。「こんな掃除のやり方を試してみた」「このインフルエンサーの動画が参考になった」など、ぜひお声をお寄せください。

お客様とインフルエンサーとプロが、一緒に暮らしを育てていく——  
そんな時代の掃除の在り方が求められていそうです（らく）

## 「お掃除の世界のインフルエンサー」

### <Instagram>

mina\_\_room  
投稿1119件  
フォロワー  
58.4万人



soji\_channel  
投稿2003件  
フォロワー  
33.7万人



### <YouTube>

uchilog  
50代主婦  
チャンネル登録者数  
19.5万人  
36万回視聴



Reolog. / Reo  
男性（夫婦で「暮らし」  
アイテム紹介）  
チャンネル登録者数  
1.9万人

